

第82回（平成28年度第5回）番組審議会議事録

1. 開催日時 : 平成29年1月20日（金）午前10時～午前11時30分

2. 会 場 : 西宮市職員会館 第1中会議室

3. 委員の出席 : 委員総数：7名
出席委員数：6名
放送事業者側出席者 代表取締役社長：1名
統括部：1名
西宮市広報課長：1名

4. 議題

番組内容についての審議

「☆煌めく！あの日あの歌」

平成29年1月18日 水曜日 19:00～20:00 放送分

5. 議事概要

社長より、今年1回目の開催でありことを述べ、出席者紹介をされる。事務局より委員総数7名中6名の出席で審議会は有効に成立している旨の報告がなされた。その後議題に沿って各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進められた。

6. 審議内容

(1) 番組の審議

委員長：聴いていただいた番組について質疑応答に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：私の好きな番組です。村田好夫さんの声がいいですね。何度か聴いています。落ち着いたおしゃべりで品がいいですね。我々の世代には大変フィットします。タイトルはどなたがお付けになったのですか？

事務局：村田さんです。

委員：バックに流れているマンドリンの曲はよく聴く曲なのですが。

事務局：これは村田さんが明治大学出身で明治大学のマンドリンクラブの演奏を番組の

テーマ曲に使いたいということで使用しています。

委 員：説明文にもありますが曲は村田さんのお持ちのレコードも使っているのですか。

事務局：そうです。さくら FM にはレコードが 1 枚も無いので、レコードやカセットテープは村田さんに持って来てもらい、CD はさくら FM で準備しています。この番組はリクエストが多いので順番にかけています。

委 員：リクエストなんですが、毎週どれくらい来るのですか？あるいは他の番組に比べて多いとか少ないとか。

事務局：リクエスト専門番組で村田さんのファンも多いので、一週間で 15～6 曲くらいは来ていると思います。その中から順番にバランスを見ながら選曲しています。また中には一人で 5 曲とかリクエストをされる方もおられるので、バランスを見ながら選曲しています。

委 員：リクエストされる方はだいたい決まっている。それとも広がっているのですか？

事務局：広がりつつあります。毎週リクエストをくれる方もいますし、最近では病院に入院されている方がリクエストをくれるようになってきています。

委 員：なるほど。こんな番組があるっていう事がわかってきたのですね。

事務局：そうですね。

委 員：リクエストの住所が滋賀とかですね。先程も Facebook で鹿児島ですか。それから「とっておき」の出演者は交野市とか。そうするとこの阪神間以外のリスナーも結構いらっしゃるのですか。

事務局：そうです。非常に多いと思います。

委 員：それはインターネットで聴いていらっしゃるのですか。それとも直接ラジオで聴いていらっしゃるのですか。

事務局：サイマル放送で聴いていただいていると思います。以前も千葉の方がゲストに来られた事がありまして、その方が北海道大学出身で大学の寮歌をリクエストしてくれたのですが、「こちらには無いです」と伝えたら「持って行くからゲストに出させていただきます」と千葉からわざわざ来られた事がありました。

委 員：そうですかあ。それから「とっておき」のコーナーは事前にかなり打ち合わせをされているのですか。

事務局：事前に 5 曲だけ選んで教えていただいて、当日「この曲はどんな思い出がありますか」と簡単な打ち合わせだけして録音をさせていただいています。

委 員：じゃあその 5 曲は事前に用意しておくわけですか？

事務局：はい。事前に聞いておいて用意しておきます。

委 員：さっきも番組を聴いていて我々年配者には愕然とするのですが、1999 年も懐メロなんですね。どっからどこまでが懐メロなのかと。

事務局：これは難しいところなのですが、リスナーの思い出の曲が懐メロという事にしてます。

委員：思い出の曲のジャンルがかなり広いですね。我々の印象からすると懐メロというのはどうしても昭和20年代とか30年代とかのイメージを持っていたのですが、それでも意識を改めないといけないですね。わかりました。そうすると聴かれる機会が増えれば聴取者が広がる可能性がありますね。

事務局：そうですね。それを期待して制作しております。

委員：あんまりないですよ。コミュニティ FM で懐メロを中心にやっている他のラジオ局とかは。

事務局：そうですね。演歌に特化した番組とかはあると思うのですが、さくら FM はレコードプレーヤーとかカセットテープの再生機がありますので、それで幅広く対応できるのかなとは思いますが。他の放送局では再生機が無い局もあるので。あとは村田さんがレコードを非常にお持ちになられるので、それで番組ができています。

委員：わかりました。頑張ってください。

委員：エリア外は何パーセントくらいあるのですか。

事務局：正直西宮からのリクエストは少ないです。

委員：コーナーに出演されている人は非常にマイク慣れしてるけど選んでいるのではないか。

事務局：一般の方なので収録前にマイクの位置を指示するくらいしかしていません。そして話がすごく苦手な方もおられるのでその場合は編集して聴きやすくしています。

委員：てんこ盛りでリクエストを入れたいというのはわかるけど、せっかくプロのアナウンサーなんだし、この時の時代背景とか、何でこれをリクエストしたのかなど要望に入ってると思うからそれを読み上げてあげたらいいと思う。それとその時の西宮・芦屋の時代背景も。全部の曲には要らないけども、ところどころに入れてあげれば面白いんじゃないかなと思う。プロのアナウンサーだから耳障りではないけども流れ過ぎていてもったいなあと思う。

事務局：村田さんがなるべく無駄なトークを省きたいというご意向があったから曲をたくさんかけているけど、そういう時代背景の話も面白いと思います。ありがとうございます。

委員長：お若い委員の方はどんな感想を持たれていますか。

委員：僕はまだ30代なので聴いていても何の曲かわからない。聴いたことない曲ばかり流れるから、先程話が出たように時代背景とかあれば聴いていて面白いと思うんですけど、曲だけ流されたら完全にターゲットは懐メロ世代というイメージでした。僕ら世代が聴いていてこういう曲ばかり流れていたらチャンネルを変えてしまうと思いました。

委員：他の番組に比べてフルコーラスでじっくり聴かせてくれるから貴重な番組では

ないかと思う。だからオーバーラップしながら喋ってもらってもいいのではないかと思う。

委員：この番組だけじゃないのですがイントロ部分もしっかり聴かせてくれるんですけども、そこに先程の時代背景や曲の思い出などを入れると共感できると思います。

委員：木の実ナナの曲は非常に珍しい曲だから後で説明があるのかなあと思ったら何もなかったからもったいないなあと思った。

事務局：私も40代なのですが、村田さんが持ってこられる曲は正直わからない曲もあって指示出しができないというのは正直あります。

委員長：ほかに意見はありませんか

委員：ラジオはお昼がメインの時間帯ですか。

事務局：地域にもよるかと思いますが、さくらFMの場合は夜7時以降がリスナーは多いと思います。ですのでお昼がメインというのは言いにくいと思います。

委員：懐メロということでやるのであればお昼3時とかの方が聴いてもらえるのではないですか。

事務局：たまたま夜7時が空き枠だったのでスタートしましたが、夜7時だとNHKテレビのニュースの時間帯と被ってしまい聴き逃したというリスナーが多かったので、10月から日曜日の朝7時から再放送をするようにしました。そしてら再放送の方が聴きやすいという意見もいただいていますので、放送時間帯も考えないといけないとは思っています。

委員：みなさん方と意見は違いますが、僕はこのスタイルがいいと思っています。ごちゃごちゃしてない。そしてシンプルに歌だけ聴かすという。それが村田好夫さんのこだわりじゃないかなというような気がします。いろんな意見があっただけいいと思うのですが。もうひとつはNHKのOBの方から「ラジオ深夜便」について聞いたことがあります。NHKは午前0時に「君が代」を流していたのですが、なぜ「ラジオ深夜便」始めたかという放送をずっとしておかないと何か起きたときに緊急放送ができないんですね。と言いますのはテレビでもラジオでも東京から順々に電波を流していくと一番端まで届くまでにタイムラグが起きてできない。そういう事がそもそものキッカケで24時間放送するようになった。そして「ラジオ深夜便」では何を流すかと。そこで予算が無いからOBを活用することを思いついた。そしてリクエストなんか来ないだろうと思っていたら徐々に溢れるように来出したという話を聞きました。だから今まで対象としてなかったリスナーが現れて深夜リスナーが多いことを改めて気づいたということだそうです。だから時間帯を考えたら新しいリスナーを発掘できる機会になるかもしれないですね。

事務局：ありがとうございます。

委員長：ほかに何か意見はありませんか。

委員：村田さんに委ねた番組にならざるを得ないですね。

事務局：そうですね。ただ固定リスナーがリクエストをくれるのですが、曲が偏ってしまうのでバランスを取るようにはしています。

委員：村田さんのスタイルでスタートする時に新しいリスナーが増えればいいという思いがあったのだと思う。その検討事項で放送時間帯の問題は確かにあると思います。夜 7 時台はやっぱりテレビを見てしまうし、年寄りを対象にするにはしんどい時間帯だと思います。それともうひとつはさくら FM が懐メロ番組をやる意味合い。それをリスナーのみなさんがどう理解してくれるかということができればいいと思います。これは希望的な意見ですが。

事務局：ありがとうございます。少し論点はズレますが、村田さんは奄美出身で奄美県人会の方ともよく交流をしているようです。そして FM 奄美というのもあって社長もよく知っているということで番組販売を試みたがうまくいかなかった。しかし番組としてはこれだけレコードとか古い音源をかけられる番組は少ないと思うので地方の FM 局とかに番組販売ができればいいとは思っています。

委員：それで売れば一番いいですね。しかし売れなくてもコストがほとんど掛からないのであれば他局で流してもらおうと今度は逆にボリュームができてくるのでスポンサーが付くという事もあると思います。例えば八尾の FM ちゃおとかはこの手の番組は喜ぶかもしれないですね。

事務局：認知してもらうにはいいかもしれないですね。

委員：あるいは番組交換とかしてもいいと思いますが、そういうのはなさっていないのですか。

事務局：今はしていません。

委員：わかりました。

(2) 番組以外の審議

委員長：他にご意見はありませんか

委員：社長にお尋ねしたいのですが、今年の 1.17 は何かしたのですか。

社長：西宮市が記帳所のテント設営をして、その隣で労働組合が花のテントを設営しているので、その 2 つの設営を請け負ったくらいです。兵庫県主催のウォークとかもありますが、私が就任してからは特に無いです。

委員：放送を聴いていても、ホームページにも 1.17 のことがまったく出ていない。

社長：私は番組の事やパーソナリティの事は社員 4 人がしっかり考えるように言っていて、防災がキッカケで出来た放送局だから防災にもっと意識を持たないといけないと。ただ実際には手が回らないとかありますが、そのへんはもっと意識

を盛り上げないといけないということは言っています。そして番組審議会の後は防災危機管理局に行って、FM 宝塚は 1.17 ウォークをしているけどこういうのはどう考えているのかとか話を持って行こうかとは思っています。あと今日の番組審議を聞いていてもスポンサーを探さないといけないとか、最初からお金にならなくても番組の厚みをつけていったりと、いろいろしないといけないと思いました。ラジオ関西の社長にも「高い制作費をかけずにさくら FM の番組を安くで買いませんか」と冗談半分で言ったりしていますが、それを真剣に考えていくのと、さくら FM もいい番組を作らないといけないいつも思っています。今は上昇の風が来ているので、この風を捕まえて行かないといけないと思っています。私が就任した翌年には「78.7 時間ラジオ」ということで緊急時に備えてそれくらいの連続放送をする力をつけないといけないと社員の発案でしました。あれはよくやったと思いました。

委員：今年あたりからテレビやラジオでも 1.17 に関してほとんど撤退している。時間帯は違うけれども中継もサンテレビと関西テレビくらい。やっぱりさくら FM は 1.17 をもう少し腰を据えてやらないと。東北も熊本も大事だけれどやっぱり 1.17 をもう一度考えてもらわないといけないと思う。それを強く思ったのが今年の福男特番。今年の特番は全然ダメ。

社長：私も正直打ち合わせが足りてないと思いました。

委員：あれくらいなら止めてしまって、もっと 1.17 に全力投入した方がいいと思う。今年の特番はひどかった。

社長：やっぱり 1.17 を含めて真剣な議論をしないといけない。社員 4 人の大事な課題。最近では審議会でもいろんなご意見をいただけるので嬉しいです。

委員：えべっさんと 1.17 は近いから、えべっさんにあの程度の勢力しか注げなくて、あの程度の番組しか作れないのだったら思い切って辞めてしまって、むしろ 1.17 に全勢力を注いだ方が私はいいと思う。去年の特番は新鮮味もあり良かったが、今年の特番にはがっかりした。

社長：事前の調整などがうまくいってなかったと思います。

委員：長田の放送局も無くなってしまったし、さくら FM しか取り上げられないから力を入れてやってもらった方がいいと思う。

社長：1.17 は今後良く考えないといけないけど、福男特番に関しては今年は大いぶダメだと思っていたのでこれもよく考えないといけないと思います。

議長はその他の意見がないことを確認し、審議会を閉会する旨を述べ社長は閉会にあたっての挨拶を行った。なお、次回審議会は平成 29 年 3 月 21 日午前 10 時、会場と審議番組は後日改めて連絡する旨を確認し、議長は午前 11 時 30 分に閉会を宣言した。議事の経過を明確にするため、議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法

近畿総合通信局への提出が完了次第

「さくら FM」のホームページ <http://sakura-fm.co.jp/>にて掲載

平成 29 年 1 月 20 日

さくら FM 株式会社